

長く通院してくれている水疱性類天疱瘡のおばあさんが、先日めでたく100歳を迎えた。やや重い認知症があり車いすに乗ってはいすが、目線はしっかりして呼びかけにはきちんと反応する。「100歳おめでとう」と話しかけたらにっこりと笑い、最後に「さようなら、元気だね」と言ったら「さようなら」と返してくれた。

昨年、100歳以上の人口は日本全体で8万人を超え、今では100歳長寿の患者を外来でみることはさほど珍しいことではない。それでも、長期にわたり継続的にみている患者さんが無事に100歳を迎えたというのは、私にとって初めての経験であった。もちろん私は類天疱瘡の治療をただで彼女の長寿に貢献はしていないが、このような長寿が可能となった一因が医学の進歩にあることは間違いなく、そのすばらしさを改めて実感した。

特に感慨深かったのは、この患者さんがステロイド内服を続けながら100歳を迎えたことである。4年前に四肢の多発性水疱で類天疱瘡を発症し、プレドニン20mg/日で治療を開始した。幸いにして速やかに改善し、慎重にステロイドを漸減、1年後に5mg/日の維持量に達し、以後再発なく同量を継続している。抗BP180 NC16a抗体も当初は高値であったが、今は低い抗体価で安定している。このような状態であれば、5mgよりさらに減らすことを考える先生もおられようが、私自身の経験として5mgより減らそうとして再発させてしまったことが何度かあり、それ以来、5mgの維持量に達したらそれ以上の減量はしないことにしている。

プレドニンは5mg/日であれば長期間続けてもほとんど副作用はないが、超高齢者においては、少量といえども免疫系、代謝系、循環器系、筋骨格系などにかかる多彩な負荷が累積的に影響し、その人が本来持っている天寿に達するのは難しくなるのではと考えていた。今回わずか1例であるが、「ステロイドを飲んでいても100歳まで生きられる」ことが示されたわけで、私にとって嬉しい驚きであった。

もちろん、ステロイドに対する反応性や副作用の出方には個人差があり、すべての人においてプレドニン5mgが寿命を短縮させないなどと結論するつもりはない。今回の経験は多くの幸運が重なった結果であると考えるべきであり、湿疹などステロイド内服の適応でない疾患に対する安易な投与は厳に慎むべきである。そのことをしっかりと踏まえた上で、ステロイドを飲みながら100歳に達した人がいるという事実は、水疱症や膠原病などステロイド内服が必要とされる場面において、患者のみならずステロイドを処方する医師にとっても一種の安心材料になるのではないかと感じたので、この場を借りて皆さんにお知らせしたいと思った次第である。

(相馬良直)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第63巻 第3号 3月号

2021年3月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 47,630 円（本体 43,300 円＋税 10%）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 TEL 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。